

## 2 研究の実際 > (3) ピア・メディエーションに関する活動プログラム

### エ 活動プログラムの実践

#### 資料の内容について

本研究では、小学校 6 時間、中学校 5 時間、高等学校 3 時間の活動プログラムを構成し、授業実践を行いました。それぞれの授業実践について以下の 4 点を掲載しています。

#### 【展開案等】

各時間の**展開案**を見ることができます。

また、各時間に使用する**スライド**と**スライド**を提示する場合の**教師用のシナリオ**、**板書計画**や**印刷して使うことができる教具**も掲載しています。

※ **展開案等** をクリックすると…

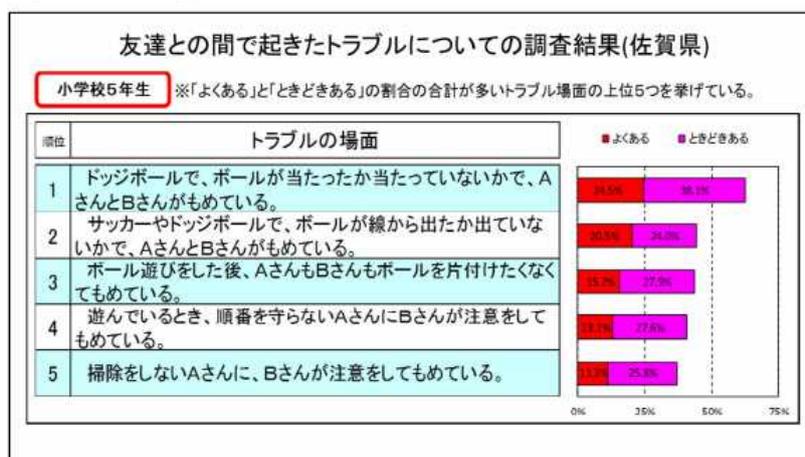
活動プログラム展開案①<小学校>  
「怒りについて考えよう」

- ◆本時のねらい
  - ・怒りの感じ方が人それぞれ違うことを理解することができる。
- ◆授業前の取り扱い
  - ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、児童の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
  - ・本時の内容について配慮を要する児童がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。
- ◆展開(本時で使用する【スライド 1】～【スライド 9】は、展開案の後に示しています。なお、スライド資料を使用せずに、板書することも可能です。)

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
1. 身の回りのトラブルを想起し、活動プログラム全体の見通しをもつ。 【5分】	【スライド 1】 ○皆さんは、どのような学級になったら、楽しい学校生活を送ることができると思いますか。 ・仲の良い学級 ・けんかのない学級 ・いじめのない学級  ○しかし、学校の中で、腹が立ってイライラしたり	

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

#### 【スライド 1】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】  
(●印のとき、アニメーションを動かす)

これは、第5位までの結果です。  
第5位は、「掃除をしないAさんに、Bさんが注意をしてもめている。」でした。

板書計画(1時目)

【めあて】怒りについて考えよう

【楽しく過ごすために】

- ・
- ・
- ・



※学習の導入として、楽しい学校生活を送るためには、どのような学級になったらよいかを出してもらい、「・」などで示します。

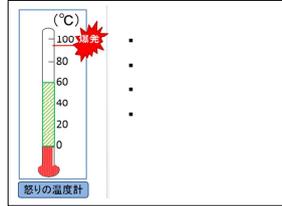
【トラブルが起きると】

- ・
- ・
- ・



※日常生活を想起させながら、もめている立場にあるときの気持ちに触れ、楽しく学校生活を送ることができているときの気持ちと対比させます。

【怒りの温度を比べてみよう】



※怒りの温度を友達と比べてみて気付いたことや感じたことを出してもらい、「・」などで示します。

【学習後の感想】

- ・
- ・
- ・

※学習を振り返って気付きや感想を出してもらい、「・」などで示します。

【ニコマーク&ニコニコマーク】

※それぞれの表情を2枚ずつ厚紙に印刷し、その間に割り箸を挟んで仕上げます。



ニコマーク



ニコニコマーク



【ワークシート等】

各時間で使用使用するワークシート、振り返りシートを見ることができます。

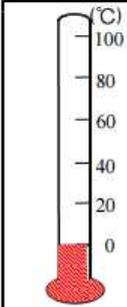
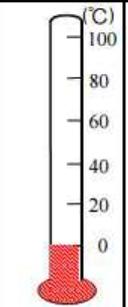
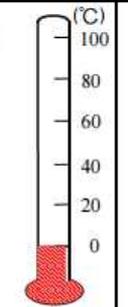
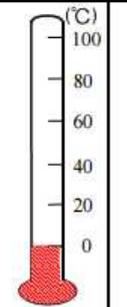
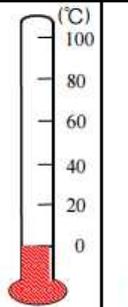
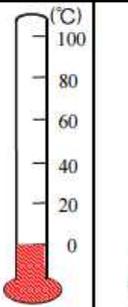
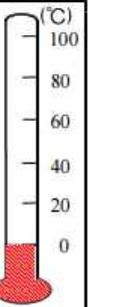
また、すぐに印刷して使用することができます。

※ **ワークシート等** をクリックすると…

① 怒りについて考えよう<小学校>

ワークシート ( )年( )組( )号 名前( )

1. 自分の怒りの温度を測ってみよう！  
 あなたは、次のようなときどのくらい怒りを感じますか。怒りの温度計に、色をぬりましょう。  
 イライラしていないときの温度を0℃、怒りが爆発するときの温度を100℃とします。

						
例 親か いま	① 大授 ま	② 面友 とだ	③ これ 自分	④ 守親 と	⑤ 友自 だ分	⑥ 先生 自分

① 怒りについて考えよう<小学校>

## ふりかえりシート

( )年( )組( )号 名前( )

○今日の学習をふりかえりましょう。(当てはまるものを○で囲みましょう)

(1) 学習に進んで参加することができましたか？  
 できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

(2) 自分の怒りの温度計を作ることができましたか？  
 できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

(3) 怒りの温度は人それぞれちがうことが分かりましたか？  
 分かった      だいたい分かった      あまり分からなかった      分からなかった

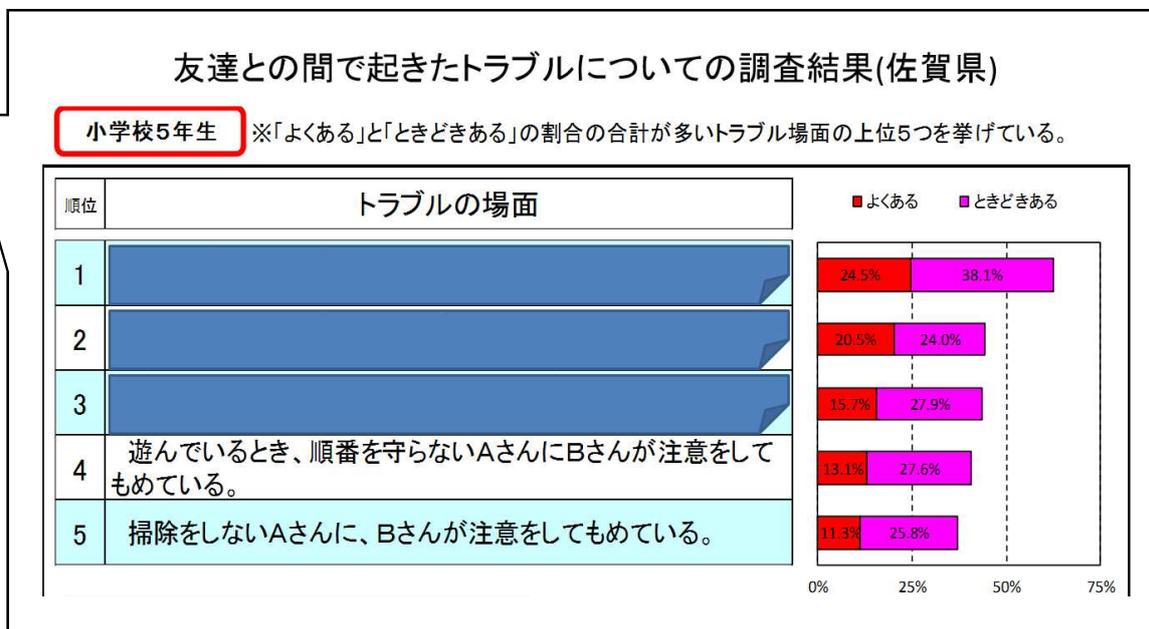
(4) 今日学習したことを、これからの生活に生かしていきたいと思いませんか？

【スライド資料】

各時間で使用するスライドを見ることができます。

そのまま、電子黒板等を使って授業で使用することができます。

※ [スライド資料](#) をクリックすると…



【授業の考察】

各時間の検証授業を行った考察を見ることができます。

「本時のねらいを達成できたか」「次時につながる内容であったか」という2つの視点で、**児童へのアンケート結果**や**児童の感想**なども含めて**授業の成果や分析結果**等を見ることができます。

※ [授業の考察](#) をクリックすると…

**授業の考察①<小学校> 「怒りについて考えよう」**

**考察の視点**

支え合う人間関係を築くための支援の在り方として、ピア・メディエーションに関する活動プログラムの開発をしてきました。この活動プログラムの有効性について、小学校6時間の授業を、以下のⅠ、Ⅱの2点を視点に考察します。

・授業の考察の視点

- ・Ⅰ 本時のねらいを達成できたか
- ・Ⅱ 次時につながる内容であったか

なお、考察のために抽出した児童の記述については、ワークシートと振り返りシートの記述を直接引用しています。

**Ⅰ 本時のねらいを達成できたかについての考察**

○は成果、◇は展開案やワークシート等の修正等に関する内容です。

本時のねらいを達成できたかを、次の表1の「本時のねらいを達成することができたかを判断する目安」を基に、ワークシートの記述及び振り返りシートの結果と記述から考察します。

・表1 本時のねらいを達成することができたかを判断する目安

- ・振り返りシートの質問項目「怒りの温度は人それぞれちがうことが分かりましたか」で、「分かった」「だいたい分かった」の合計が80%以上であること

1 怒りの温度の違いについて